

「みなかみ町藤原の自然(1)」

平成15年に自然保護ボランティア団体「森林塾青水」に入会しました。この会は群馬県みなかみ町藤原地区で地元の皆さんと共に旧入会地の保護と活用等の活動をしています。このところ何年も活動参加中断中ですが 思い立って6月10、11の両日 久し振りに一人で現地を訪ねてみました。この地区はまさに自然の宝庫で 懐かしい風景とたくさんの生き物が出迎えてくれました。最初に訪れた上ノ原フィールドではエゾハルゼミの湧き上がるような大合唱が圧巻でした。カッコウやホトトギスの鳴き声も遠くから聞こえて来ました。民宿「吉野屋」近辺ではニュウナイスズメのカップルが姿を見せ、宝台樹キャンプ場ではアカゲラとアオゲラの写真を撮ることが出来ました。



① エゾハルゼミ♂ (全長 38~44mm) 2013-6-11



② エゾハルゼミ♀ (37~39mm) 2013-6-11



③ アカゲラ♂(全長 24cm)留鳥 2013-6-11



④ アオゲラ (29cm) 留鳥 2013-6-11



⑤ ニュウナイスズメ♂(14cm)留鳥 2013-6-10



⑥ ニュウナイスズメ♀(14cm)留鳥 2013-6-10

「みなかみ町藤原の自然(2)」

前号に引き続き6月10, 11日に訪ねたみなかみ町藤原の自然を紹介します。今回は出会った蝶とトンボの写真をまとめてみました。ちょうどウスバシロチョウの発生時期でふんわりと飛ぶ優雅な姿を久しぶりで見ました。上ノ原フィールドと自然花苑ではアサギマダラが飛んでいました。この蝶は春に発生すると日本列島を北上して繁殖、秋には南下して中には海を渡って南西諸島まで移動するものもある独特の生態を持っています。宝台樹キャンプ場で見えたヒオドシチョウは羽化(6月頃)後、しばらく見られますが夏、秋、冬と姿を隠し翌春現れるとのこと。明川の休耕田利用のビオトープでは美しい瑠璃色のオゼイトトンボ、ニホンカワトンボ、ヨツボシトンボなどを観察することが出来ました。



① ウスバシロチョウ (翅開長約 60mm) 2013-6-11



②アサギマダラ (約 100mm) 2013-6-11



③ ヒオドシチョウ(60~70mm) 2013-6-10



④オゼイトトンボ♂ (体長 33~40mm) 2013-6-10



⑤ニホンカワトンボ♂ (約 50mm) 2013-6-10



⑥ヨツボシトンボ(約 45mm) 2013-6-10

「みなかみ町藤原の自然 (3)」

7月に開催された森林塾青水の活動プログラムに久しぶりで参加しました。今回のプログラムは「スキ草原(元茅場)の防火帯整備と昆虫調査」でしたが 塾長、幹事のご配慮で自由行動にいただき 上の原フィールドを中心に写真を撮って来ました。又、滞在を一日延長して 明川や宝台樹キャンプ場にも足を延ばしました。4回のシリーズで写真を整理します。まず野鳥です。オオルリとイカルは今回、証拠程度にしか撮れなかったので 以前撮影した写真(これも不満足)も合わせて掲載しました。



① ホオジロ♂ (体長 16cm) 留鳥 上ノ原
2013-7-27



② モズ若鳥(20cm) 留鳥 上ノ原
2013-7-28



③ オオルリ♂(16cm) 夏鳥 湯の小屋照葉荘近辺
2013-7-28 早朝



④ オオルリ♂(16cm) 夏鳥 上ノ原
2005-5-15



⑤ イカル(23cm) 漂鳥 宝台樹キャンプ場
2013-7-29



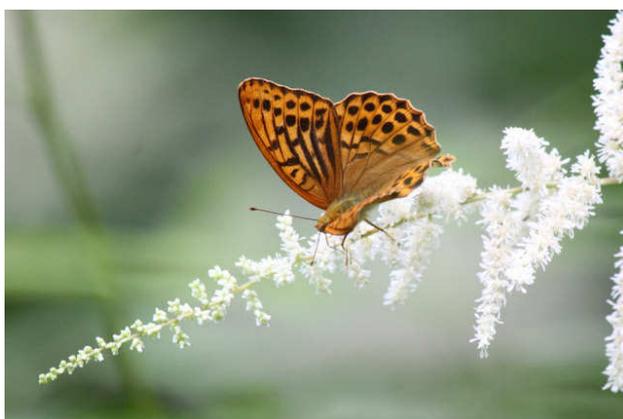
⑥ イカル(23cm) 漂鳥 上ノ原
2004-6-5

「みなかみ町藤原の自然 (4)」

7月に開催された森林塾青水の活動に参加した時に撮った蝶の写真です。上の原フィールド及びその周辺では鮮やかな模様のヒョウモンチョウの仲間がたくさん飛んでいました。偶然 交尾中のウラギンヒョウモンが近くに止まってモデルになってくれました。上ノ原から大幽に通じる林道ではミドリヒョウモンがトリアシショウマ、オカトラノオ、ヨツバヒヨドリ、ヤマアジサイ等の花で吸蜜していました。



①ウラギンヒョウモン交尾 (翅開長 55~65mm)
上ノ原 2013-7-27



②ミドリヒョウモン(65~80mm) 上ノ原奥林道
2013-7-27



③コミスジ(45~55mm) 上ノ原
2013-7-27



④ヒメシジミ(27~31mm) 上ノ原
2013-7-27



⑤コキマダラセセリ♀(32~36mm) 上ノ原
2013-7-28



⑥サカハチチョウ♀夏型(35~40mm) 上ノ原奥林道
2013-7-28

「みなかみ町藤原の自然 (5)」

7月の森林塾青水の活動参加時に撮ったトンボとカミキリムシの仲間です。上ノ原高原では平地で発生したアキアカネが移動して来て夏を過ごしています。9月頃には成熟し平地に戻り 繁殖活動を始めます。上ノ原で初めてイトトンボの仲間 (オオアオイトトンボ) を観察しました。明川ビオトープではこれまでこの時期に数多くの種類のイトトンボが見られましたが 今回はキイトンボのみで残念でした。今年の異常気象の影響か、それともビオトープの環境自体が大きく変わったのか心配です。



① アキアカネ (体長 40mm) 上ノ原
2013-7-27



②オオアオイトトンボ(46mm) 上ノ原
2013-7-27



③キイトンボ(38mm) 明川ビオトープ
2013-7-28



④オオシオカラトンボ(50~57mm) 明川ビオトープ
2013-7-28



⑤ゴマダラカミキリ(25~35mm) 上ノ原
2013-7-27



⑥ヨツスジハナカミキリ(12~20mm)上ノ原奥林道
2013-7-27

「みなかみ町藤原の自然 (6)」

今回の7月シリーズの最終としてその他の昆虫をまとめてみました。蝶のようなイカリモンガとトンボエダシャクは蛾の仲間です。蛾と蝶の違いや蛾の写真はいずれミニアルバムとして整理するつもりです。蛾の他に上の原はカメムシの仲間、甲虫の仲間、バッタの仲間、ハチの仲間など多種多様な昆虫が生息していて まさに昆虫の宝庫だそうです。



① イカリモンガ (翅開長 30~40mm) 上ノ原
2013-7-28



② トンボエダシャク (50~60mm) 上ノ原奥林道
2013-7-28



③ アカスジカメムシ交尾 (体長 10~12mm) 上ノ原
2013-7-28



④ アカヘリサシガメ (12~15mm) 上ノ原
2013-7-27



⑤ トラマルハナバチ (12~20mm) 上ノ原
2013-7-27



⑥ シオヤアブ (23~30mm) 上ノ原奥林道
2013-7-27